

『ビジネス』を護るサイバーセキュリティデイズ2024

企業活動においてデジタル化が加速し、サイバー攻撃の脅威はあらゆる分野の企業・組織にとって無縁とはいえ、サイバーセキュリティへの取り組みは、IT/セキュリティ担当者だけの課題ではなく、事業の継続性を担保するため組織全体で取り組むべき最重要の課題となっています。こういった課題を打破するため、企業・組織の経営層やセキュリティ担当者だけでなく組織に所属する全ての方々を対象に実践的演習とセミナーを開催します。

Practice Day (Micro Hardening)

定員30名 参加費無料

2024年3月12日(火) 13:00~18:30 金沢商工会議所2階 研修室1 (金沢市尾山町9番13号)

サイバーセキュリティに関心を持つ学生、企業のセキュリティ担当者などを対象にゲーム感覚でサイバー攻撃に対処する能力の向上を図る実践的演習(Micro Hardening)を実施します。個人・チームでの参加申し込みを受け付けます。(詳しくは裏面の「お申し込み方法」をご覧ください)。

あわせて令和6年度「SecHack365」の公募説明を実施します(SecHack365の詳細は裏面をご確認ください)。

Seminar Day (サイバーセキュリティセミナー)

定員50名 参加費無料

2024年3月13日(水) 13:30~16:30 金沢商工会議所2階 研修室1 (金沢市尾山町9番13号)

13:30~
13:35 開会(主催者挨拶) (国研)情報通信研究機構 ソーシャルイノベーションユニット長 浜口 清

13:35~
13:50 序論 ファシリテーター 篠田 陽一 氏

北陸先端科学技術大学院大学教授
内閣サイバーセキュリティセンター参与
国立研究開発法人情報通信研究機構
R&Dアドバイザー
CYDER実行委員会実行委員



情報環境、ネットワーク分散システム、ソフトウェア開発環境の研究に従事。サイバーセキュリティデイズには2018年に開催された第一回からファシリテーターとして参画。

第一部 講演

講演1「変化するサイバーセキュリティ攻撃への対策・対応のポイント」

13:50~
14:35 中西 克彦 氏

株式会社FFRIセキュリティ
国立研究開発法人情報通信研究機構
CYDER実行委員会推進員



2015年から2021年9月まで東京2020組織委員会に出講し、CSIRT、脅威情報の分析、政府等関連組織との連携などを担当、2022年から現職に従事。

講演2「『事業継続』に向けたセキュリティ対策」

14:35~
15:20 森島 直人 氏

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社
サイバーセキュリティパートナー



監査法人にて情報セキュリティマネジメントシステムやCSIRT、脆弱性管理態勢等の構築、情報セキュリティ対策に係る整備及び運用の外部評価等に従事。博士(工学)、公認会計士。

第二部 パネルディスカッション「本音で語るサイバーセキュリティ」

ファシリテーター、講師及び「PracticeDay」で講師を務める川口洋氏が、当日、参加者の方々からご質問等を受け、インタラクティブに交流し、個別のお悩み・ご意見についてわかりやすく解説します。

15:30~
16:30 Practice Day講師 川口 洋 氏

株式会社川口設計
代表取締役
国立研究開発法人情報通信研究機構
CYDER実行委員会推進委員



16:30 閉会(主催者挨拶) 北陸サイバーセキュリティ連絡会座長 丹 康雄
北陸先端科学技術大学院大学副学長・教授

主催 国立研究開発法人情報通信研究機構、北陸経済連合会、北陸情報通信協議会、北陸サイバーセキュリティ連絡会
協力 総務省北陸総合通信局、経済産業省中部経済産業局、富山県警察本部、石川県警察本部、福井県警察本部
富山県商工会議所連合会、石川県商工会議所連合会、一般社団法人福井県商工会議所連合会
一般社団法人富山県情報産業協会、一般社団法人石川県情報システム工業会
一般社団法人福井県情報システム工業会

サイバー攻撃に対処する能力の向上を図る実践的演習 Micro Hardening

Micro Hardening は「衛る技術の価値を最大化することを目指す」プロジェクトである Hardening Project から生まれたサブプロジェクトであり、「ゲーム感覚で」サイバー攻撃に対処する能力を磨くことを目指した実践的演習です。

参加者は4人で1チームとなり、45分という限られた時間のなかで、提供されたEC(electronic commerce : 電子商取引)サイトに対する様々なサイバー攻撃に対処することが求められます。ECサイトで買い物を行うクローラ(買い物ロボット)が購入した金額が得点となり、さらに防いだ攻撃に応じたボーナス得点が得られ、ECサイトを安定稼働させることが高得点につながります。45分を1セットとし、3セット繰り返すことで、毎回少しずつ攻撃の状況を観測し、対処方法を試すことで、エンジニアとしての能力向上を図ります。

開催詳細

【ファシリテーター】川口 洋氏

【タイムテーブル】

13:00	開始/説明	
13:30	演習 45分 振り返り 30分	3セット 繰り返し
17:30	SecHack365 説明会	
18:30	終了	

【参加者の皆様に準備いただく物品】

- ・ノートパソコンと電源アダプタ
- ・上記ノートパソコンで動作するVNCクライアント
- ・上記ノートパソコンで動作するSSHターミナルクライアント (Windowsの方はTeratermセットを推奨)
- ※ セミナーのみ参加の方は必要ありません。

【必要スキル等】

- ・LinuxサーバにSSHでログインしてコマンドが打てること
- ・自分のパソコンのhostsファイルを編集できること (管理者権限を持っていること)

お申し込み方法

それぞれの申し込みフォームに必要事項を記載し、お申し込み下さい。
なお、Practice Dayは1チームは4人を基本としますが、おひとりからの参加も可能です。

Seminar Day



<https://forms.office.com/r/gfWqFVi4zb>

Practice Day



<https://forms.office.com/r/Sna378pC9C>

募集について

定員 : Practice Day(Micro Hardening)30名、Seminar Day(サイバーセキュリティデイズセミナー)50名
参加費 : 無料
申込締切 : 2024年2月26日(月)
※それぞれ定員に達し次第締切らせていただきます。

(参考) (国研)情報通信研究機構が取り組む「SecHack365」とは?

SecHack365とは、「SECURITY + HACKATHON 365 DAYS」を意味する名称で、25歳以下を対象に、他にはない365日の長期ハッカソンによるモノづくりの機会を提供することで、「セキュリティイノベーター」としてセキュリティの様々な課題にアイデアで切り込める人材の育成を目指しています。

参加者は(国研)情報通信研究機構をはじめ、大学や企業など様々な分野で活躍する研究開発・セキュリティのスペシャリストからなる専門家集団(トレーナー)の助言を得ながら、サイバーセキュリティの課題解決に資する実践的な研究・開発に取り組みます。

本イベントに関する問い合わせ

国立研究開発法人情報通信研究機構 北陸StarBED技術センター 0761-51-8118